

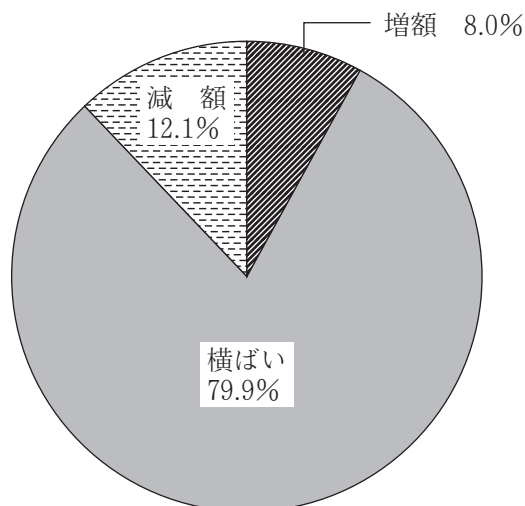
2007. **12**
No. **127**

調査レポート

平成19年冬季 県内民間ボーナス支給見通し

— 減額傾向がわずかに強まるも、総じて横ばいが続く見通し —

冬季民間ボーナス支給見通し（全産業）



「第63回県内企業経営動向調査」から

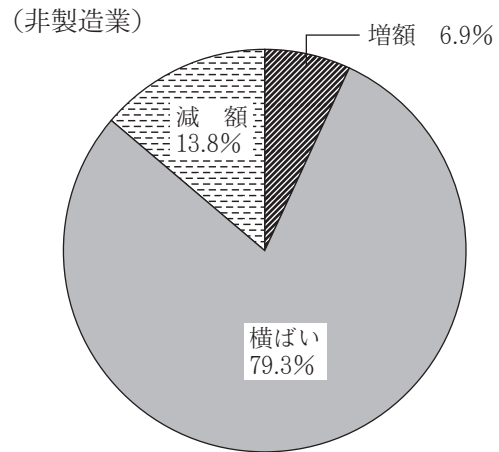
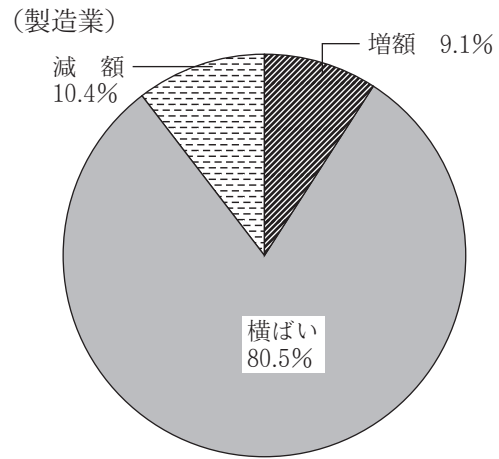
○ 企業アンケートからみた 民間ボーナスの支給見通し

当行の第63回県内企業経営動向調査（10月上旬実施、回答企業322社）によると、今冬のボーナス支給予定額は、昨冬の支給額に対し「増額」回答先割合が8.0%（昨冬調査7.8%）、「横ばい」回答先割合が79.9%（同81.1%）、「減額」回答先割合が12.1%（同11.1%）となった。

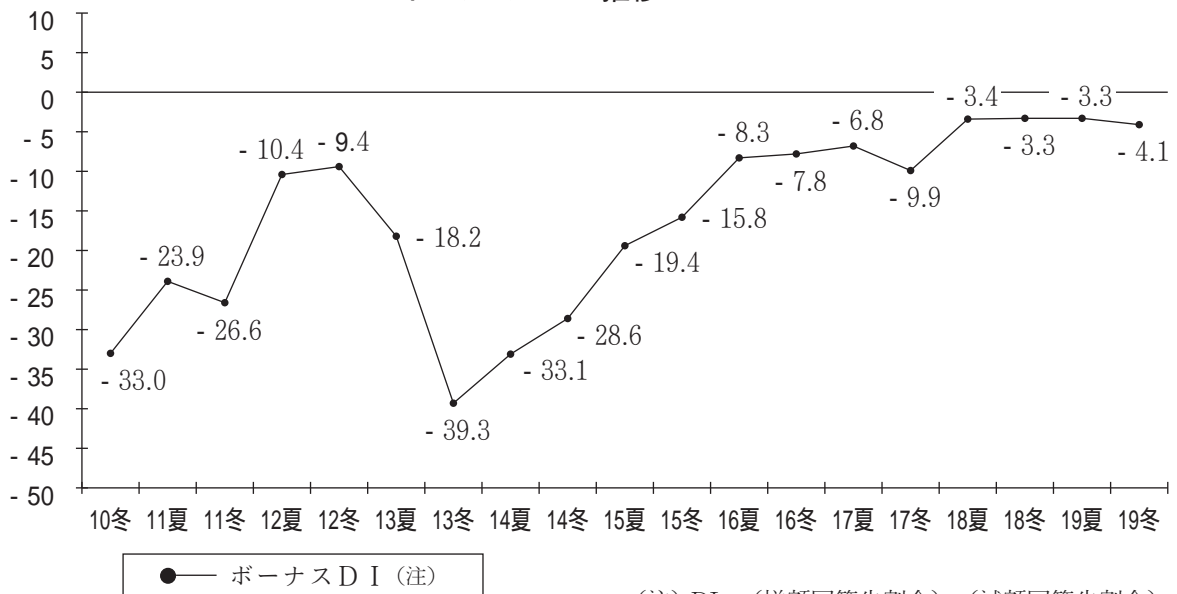
この結果、冬季のボーナスDI（「増額」回答先割合－「減額」回答先割合）は△4.1（昨冬△3.3）となり、平成13年を底にマイナス幅を徐々に縮小してきたが、今冬は昨冬に比べて0.8ポイント拡大と再び悪化に転じた。

県内企業では、技術者等専門職の人手不足が深刻になっており、また、企業業績の回復を背景としたボーナス増額もあるなど人件費増大圧力は高まっている。このため、単純労働部門においてはパートや派遣労働者による労働需給調

冬季民間ボーナス支給見通し



ボーナスDIの推移（全産業）



(注) DI = (増額回答先割合) - (減額回答先割合)

整が拡大するなど、人員・人材確保と人件費抑制のバランスを図ってきた。しかし、県内景況は不透明感を強めており、原油・原材料価格の上昇の影響も広範囲に窺われるなかで、業績が好調な先も存在するものの総じて企業収益の悪化が目立ち始めている。

今回の回答の内訳をみると、こうした状況が窺われ、「増額」回答割合は前年と比べて0.2ポイントの低下にとどまっているが、「横ばい」回答割合が1.2ポイント低下し、反面「減額」が1.0ポイント上昇している。人員・人材確保も課題ながら、景気回復局面の息切れ感の台頭から、人件費抑制を図るため経営者がボーナス支給に対して慎重姿勢を強めていることが窺われる。

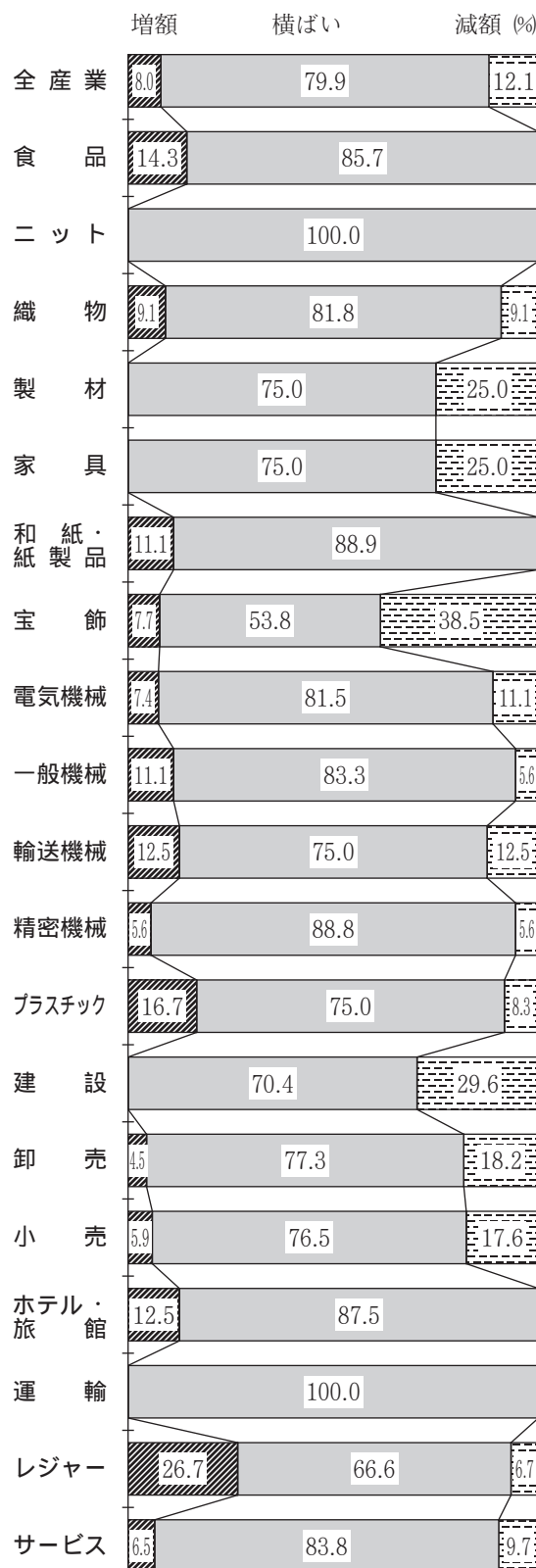
業種別にみると、製造業は「増額」回答割合が9.1（昨冬9.3）、「減額」回答割合が10.4（同8.6）、ボーナスDIは△1.3となり、昨冬（0.7）のプラスから再び若干ながらマイナスに転じた。

このうち、食品は製造業で唯一「増額」を維持したが、宝飾で引き続き「減額」としているほか、製材も「減額」に転じている。一方、機械工業は、電気機械、一般機械、輸送機械、精密機械とも「横ばい」の見通しとなっている。

非製造業は、「増額」回答割合が6.9（昨冬6.5）、「減額」回答割合が13.8（同13.6）で、ボーナスDIは△6.9と昨冬（△7.1）とほぼ同水準となり、「減額傾向」が続いている。

このうち、ホテル・旅館、レジャーでは、前年の「横ばい」から「増額」へ転じているが、建設、卸売、小売では「減額」の見込みとなっている。

平成19年冬季民間ボーナスの業種別支給見通し



山梨中銀 年末ローン

〈お取扱期間〉
平成19年11月1日(木)～平成19年12月28日(金)

中小企業・個人事業主のみなさまの事業発展にお役立ていただく
ためのご融資です。

賞与資金など年末資金としてお気軽にご利用ください。

お申込み いただける方	中小企業・個人事業主の方で、1年以上同一事業を営まれており、今後も継続して事業を営まれる方
お使いみち	事業に必要な運転資金
ご融資金額	1,500万円以内（無担保の場合は、1,000万円以内）
ご返済期限	平成20年5月30日(金)
ご返済方法	分割返済または期日一括返済

※審査の結果によってはご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせは、お近くの〈山梨中央銀行〉の窓口、
または下記フリーダイヤルまでお気軽にどうぞ



0120-201862

照会コード

9

受付時間/9:00～17:00(月曜日～金曜日)
ただし、銀行休業日は除きます

ふれあい、さわやか

山梨中央銀行